

～秋田版スマート農業モデル創出事業～

研究テーマⅢ：超省カスマート農業

最新スマート農機を活用した超省力農業の実証

東光鉄工(株)・大仙市・秋田県立大学

研究の背景

- ◆ 農業労働力の減少
 - ◆ 秋田県の人口減少率は5年間で6.2%と全国最大で、農村部の減少率は10%超
 - ◆ 集落営農組織にも高齢化・後継者不足の波
- ◆ 既存技術では経営面積に限界
 - ◆ 米価が低迷する中で、儲かる農業実現のためには多品目を大面積で栽培する必要があるが、既存技術では限界

研究の目的

- ◆ 最新スマート農機による超省力実証
 - ◆ ロボットトラクター、ロボット田植機、食味コンバインによる超省力作業実証
 - ◆ 水稻直播栽培のドローン一貫体系の実証
- ◆ 経営評価による経営規模拡大検証
 - ◆ 米(移植、直播)、他作物体系に、超省力実証データを適用し、経営規模拡大の可能性を検証

研究項目と計画

- 水稻直播ドローン一貫体系
 - ドローンの農業資材適応性の検討
 - ドローンによる湛水直播栽培確立
 - ドローン一貫体系の実証
- ロボット農機による超省力作業体系確立
 - ロボット農機の運用方法の検討
 - 作業能率データ取得
- 経営評価とシミュレーション
 - ロボット農機とドローン直播を組合せた、超省力栽培体系を試算

項目	R3	R4	R5	R6	R7	
水稻直播ドローン	← 資材適応性 →	← 新技術導入による効率化実証 →	← 栽培方法の検討 →	中間報告	最終報告	
ロボット農機	← 運用方法 →	← 実証試験(大仙市、AIC) →	← マニュアル整備 →			← マニュアル整備 →
経営評価		← 能率試験 →	← ロボット評価 →			← 経営シミュレーション →

未来

